大阪ガス

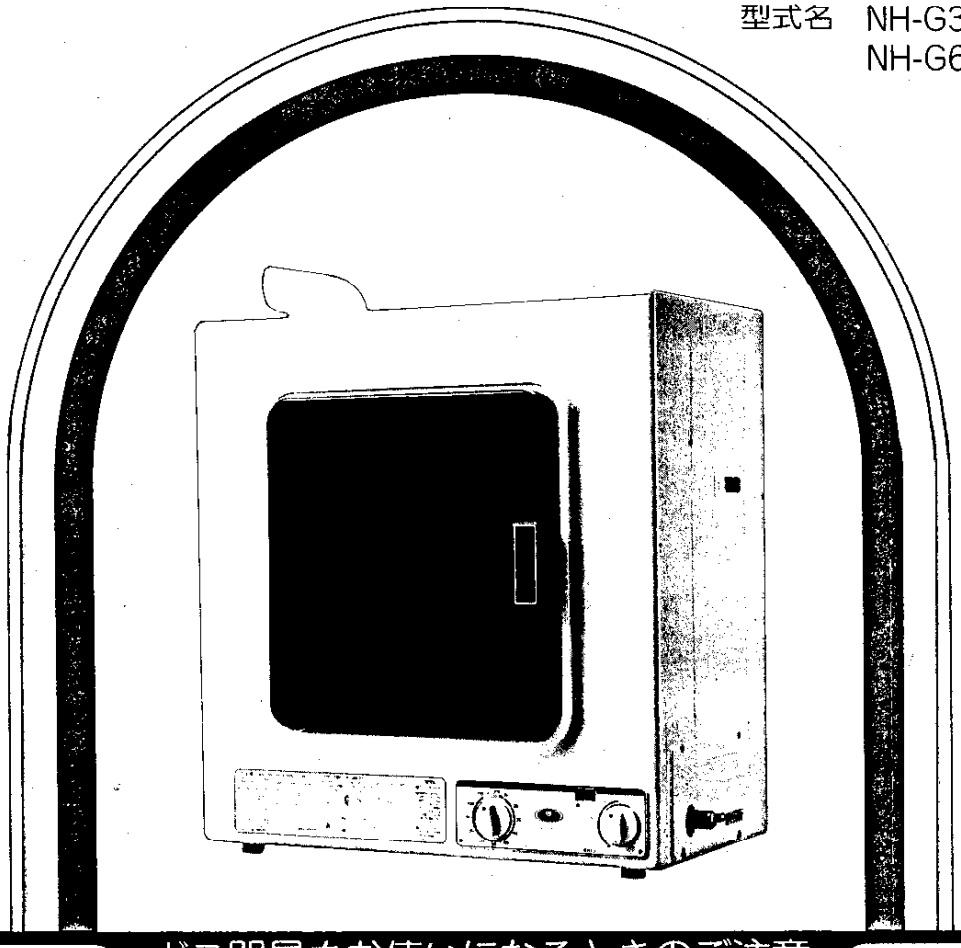
ガス衣類乾燥機 乾太くん

取扱説明書

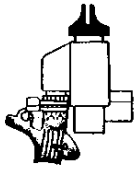
60-007 型
60-008 型

保証書付

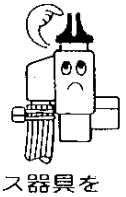
型式名 NH-G350L
NH-G650J



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を

ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

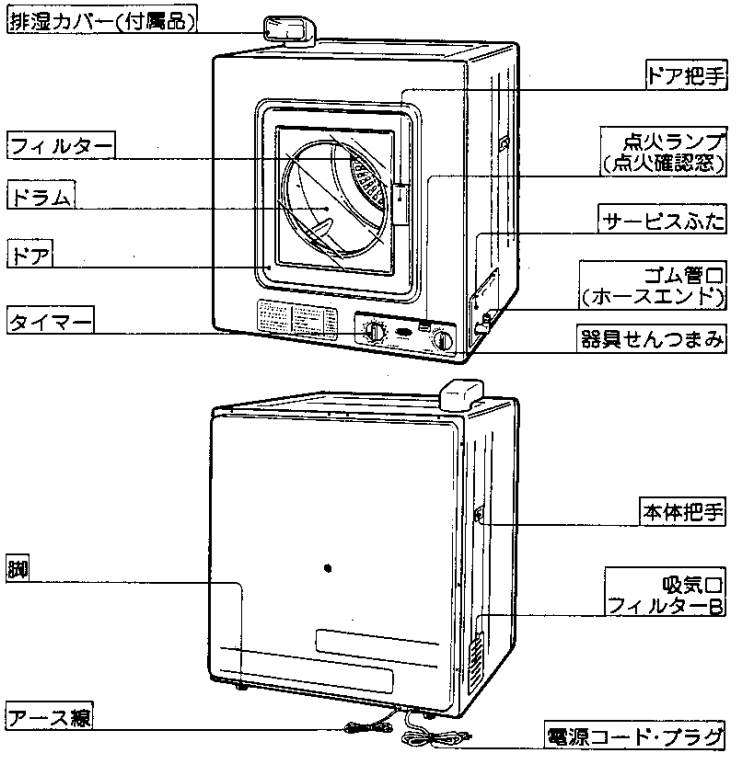
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス衣類乾燥機をお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

- 各部の名称……1
- 特に注意していただきたいこと……2
- 器具の設置……4
- 使用手順……6
- 使用時のご注意……10
- 日常の点検・手入れ……12
- 故障・異常の見分け方と処置方法……14
- アフターサービスのお申し込み……15
- 寸法図と仕様一覧表……16
- 特長……17
- 別売部品のご紹介……18

各部の名称



●付属品

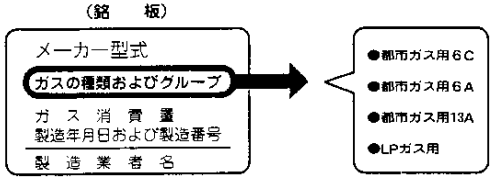
排湿カバー	乾 燥 棚	専用台取付用ネジ

特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。
- ガス器具本体の右側面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかを、まず確かめてください。
- ガスの種類には都市ガスとLPガスがあり、都市ガスにはグループの区分があります。
- 転宅をされたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

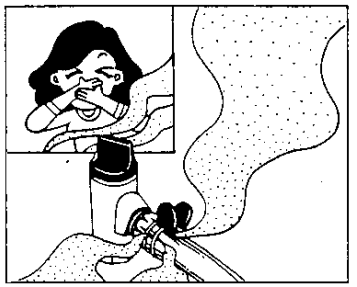


使用電源についてのご注意

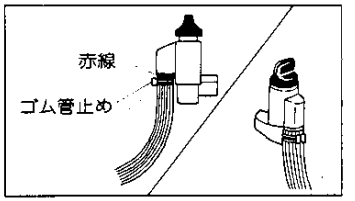
- 電源の電圧と周波数を確かめてください。
- この器具はAC100V　60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

ゴム管についてのご注意

- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを用い時々とりかえてください。(寿命の目安は約3年です。)
  ゴム管が古くなりますと、元せんや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガス漏れの原因になり危険です。



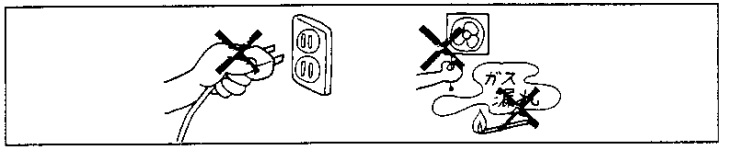
- ゴム管は赤線まで差し込んで、しっかり止めてください。
- 9.5mmφ(内径9.5mm)のゴム管を使用し、ガスの元せん、器具せんともゴム管口の赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかり止めてください。



ガス漏れについてのご注意

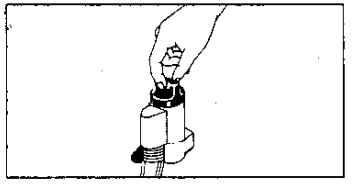
- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、大阪ガス支社または大阪ガスサービスステーションに連絡してください。

万一ガスが漏れたときは、絶体に火をつけたり換気扇その他、電気器具にふれたりしないでください。(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等)
火や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



ガス漏れ予防について

- 器具をご使用にならないときや外出前、おやすみ前には万一の事故がないように必ずガス元せんをしめてください。
- 使用後は必ず器具せんを閉じ、消火したことを確かめてください。



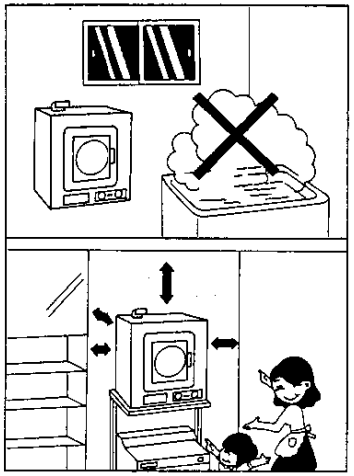
外出についてのご注意

- ご使用中は外出しないでください。
  万一のとき適切な処置がとれないことがあります。

器具の設置

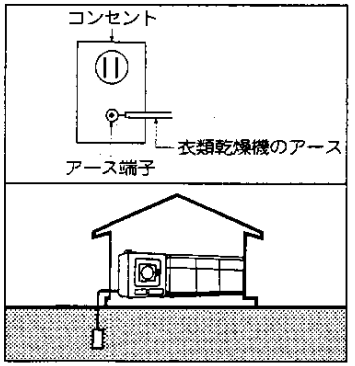
器具の設置場所について

- 水平で丈夫な床面に設置してください。
- 次のような場所には設置しないでください。
  （風呂場等湿気の多い場所
  水、雨等がかかる場所
  換気が悪い場所）
- 食品加工工場、製粉工場等、空気中に多量の塵埃が浮遊する環境中、また特殊薬品を使用する場所には、設置しないでください。
- 器具と壁面は上側は30cm以上、後面は5cm以上、側面は10cm以上離してください。
- 専用台をご使用の場合は転倒しないように、専用台に付属のくさりで止めてください。



アース(接地)について

- 万一の漏電事故防止のため、必ずアースを接続してお使いください。
- **洗濯機の近くに設置する場合**
  洗濯機のアース接続部に一緒に接続してください。
- **単独に設置する場合**
  アース端子付コンセントや炭素接地棒を使用してアース接続してください。
- ガス管、水道管には絶対に接続しないでください。
- アースの取り付け、取りはずしは、電源プラグを電源コンセントからはずして行なってください。

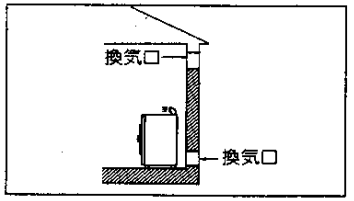


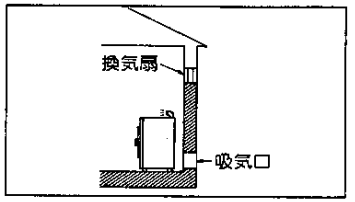
排気処理について

排湿ホース、又は排気筒なしの場合

- 衣類乾燥機は乾燥の際、しめり空気と燃焼排気ガスを排出しますので、なるべく排湿ホース又は排気筒を取り付けるようにしてください。
  やむをえず排湿ホース又は排気筒を取り付けない場合は次のようにしてください。

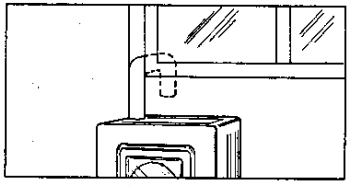
①衣類乾燥機の近くに有効開口面積200cm²以上の換気口を部屋の上下に取り付けてください。
②衣類乾燥機の上部(真上)に羽根径15cm以上の換気扇を、下部に吸気口を取り付けてください。





排湿ホース(別売)ご使用の場合

- 排湿ホースは延長できません。
- 先端から雨や風が逆入しないように下向きにしてください。



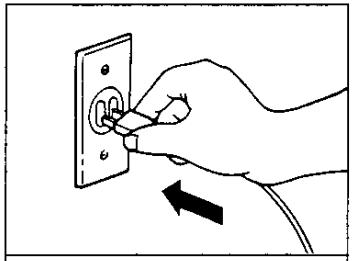
排気筒(壁貫通工事)ご使用の場合

- 販売店にご相談ください。

器具の改造について

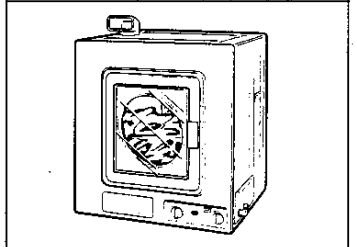
- 器具内部の結線変更などは絶対にしないでください。

使用手順



1.電源プラグをコンセントに差し込みます。

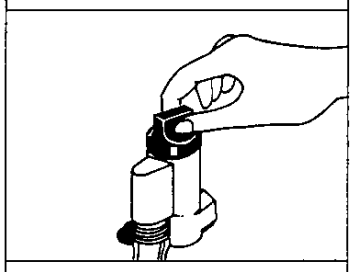
●必ずAC100Vをご使用ください。



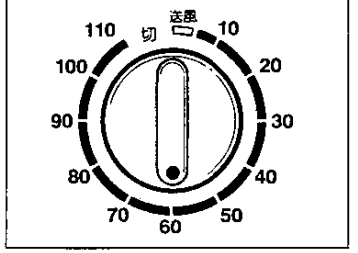
2.洗濯物を入れ、ドアを確実に閉じます。

●ドラム内のフィルターが正しく取り付けられているかよく確認してください。

●洗濯物をドアにはさまないようにドアを閉めてください。



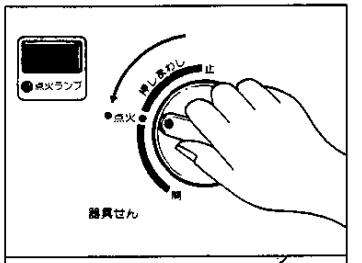
3.ガス元せんを全開します。

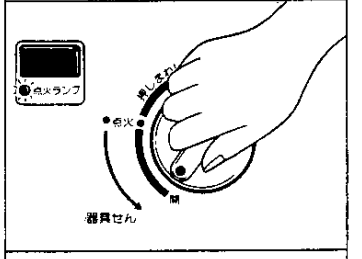


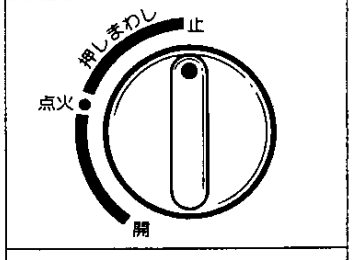
4.「タイマー」を乾燥時間に合わせます。

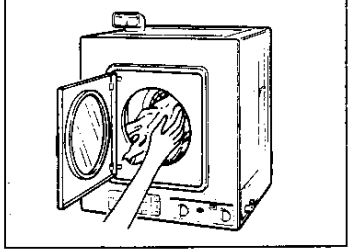
●ドアを開けたままではドラムが回転しませんので必ず閉じてください。

使用手順②









5.ガスを点火します。

①器具せんつまみを押しながら「点火」の位置まで回し「点火ランプ」が点灯するまで、押し続けます。

●器具せんつまみを押している間はドラムは停止します。

●初めてご使用になる場合などで、ゴム管内に空気がたまっている時はすぐには点火しません。

②「点火ランプ」が点灯したら、器具せんつまみを押すのをやめて一旦手を離し、器具せんつまみを「開」の位置まで回します。
後は自動的に乾燥します。
念のためメインバーナの着火を確かめてください。

●点火ランプが点灯してから手を離してもガスが消える場合は、手を離す直前に一旦強く押してみてください。

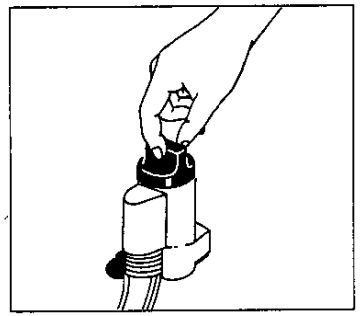
●乾燥終了前約5分間はガスが止まり送風乾燥となります。

6.乾燥が終れば器具せんつまみを「止」の位置にもどします。

●器具せんつまみは絶対に途中の位置に止めないでください。

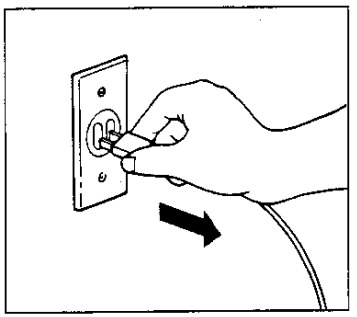
7.洗濯物を取り出します。

●化せんなどを乾燥して、衣類を取り出す場合に衣類の摩擦による静電気を感じることがありますが、これは衣類を脱ぐときに感じるものと同じですからご心配いりません。



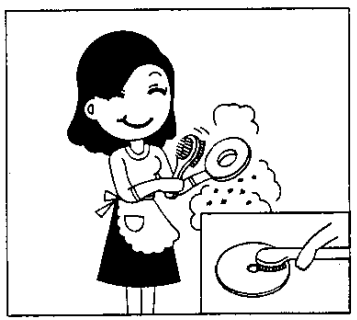
8.ガス元せんを閉じます。

●就寝、外出のときなどは万一の事故がないように器具せんだけでなくガス元せんも閉じてください。



9.電源プラグを抜きます。

●万一の事故防止のため電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。



10.フィルター・バックフィルターBのお手入れをします。

●ご使用後はそのつど掃除してください。

●フィルターに布ぼこりがたまったままにしておくと乾燥時間が長くかかります。

乾燥量と乾燥時間の目安

洗濯物の種類	1枚の重さ	60-007型		60-008型	
		1回にできる乾燥量	乾燥時間	1回にできる乾燥量	乾燥時間
おしめ（木綿）	約 50 g	約 60 枚	約 50 分	約 80 枚	約 70 分
西洋おしめ（木綿）	約 100 g	約 30 枚	約 50 分	約 40 枚	約 70 分
カッターシャツ（ポリエステル65%・木綿35%）	約 200 g	約 15 枚	約 25 分	約 20 枚	約 35 分
冬シャツ（混紡）	約 250 g	約 12 枚	約 45 分	約 16 枚	約 60 分
下着（木綿）	約 120 g	約 25 枚	約 45 分	約 33 枚	約 60 分
パジャマ上下（木綿）	約 500 g	約 6 枚	約 55 分	約 8 枚	約 75 分
作業服（ポリエステル65%・木綿35%）	約 800 g	約 4 枚	約 50 分	約 5 枚	約 70 分

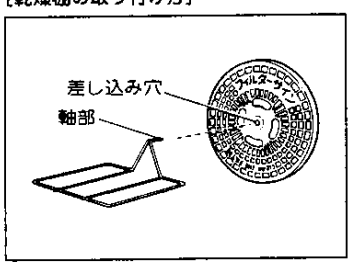
●上表は室温20℃、脱水機付洗濯機で5分間脱水したものを乾燥する場合の目安です。
〈ご注意〉下記の条件の時は、乾燥時間が上表より前後します。

長くなる場合	短なる場合	その他
●周囲温度が低い時 ●室内の換気が不十分の時 ●フィルターに布ぼこりがたまっている時 ●脱水が不十分の時	●強脱水で脱水した時	●いろいろな衣類を同時に乾燥する時は、長くかかる方に合わせて、短くてよいものは、途中で取り出してください。

乾燥棚の使い方とご注意

●乾燥棚はズックグツなどを、衣類乾燥機で乾かしたいときにお使いください。

[乾燥棚の取り付け方]



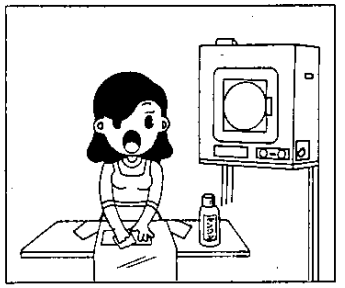
[使用上のご注意]

※下記のような物は乾燥しないでください。
- プラスチックや革製品
- 2kg以上の重さの物
- ドラムに当たるような大きな物

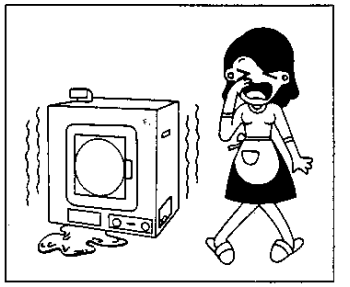
※乾燥物は乾燥棚からはみ出さないように置いてください。

※乾燥物や乾燥棚は運転直後、高温になっていますので、取り出す前にガスを止めて、送風運転をしてください。

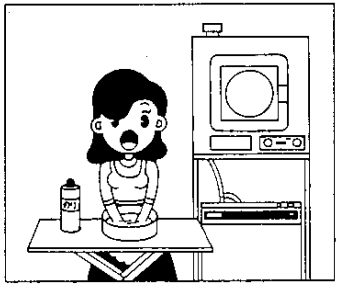
使用時のご注意



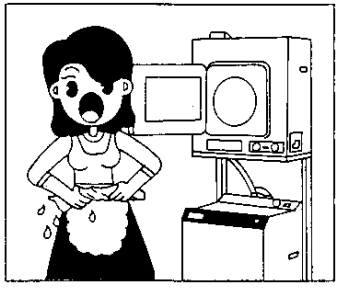
●衣類乾燥機の運転中に揮発性の引火物を近くで使用しないでください。
（火災の恐れがあります。）



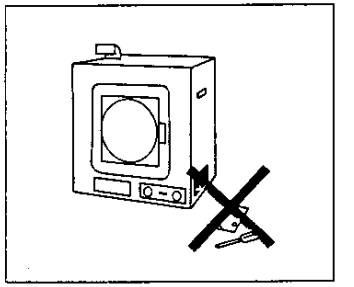
●ドラム内に湿った洗濯物を長時間入れておかないでください。
（故障やサビなどの原因になります。）



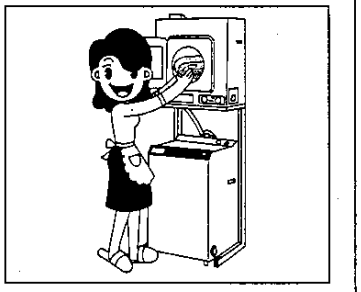
●のり付けした衣類の乾燥はおさけください。
のり付けは衣類乾燥機から取り出した後「スプレーのり」などを使ってアイロンがけしてください。



●洗濯物は洗濯機で十分脱水してから衣類乾燥機に入れてください。
（手絞りの洗濯物は乾燥時間が長くかかります。）



●フィルター・サービスふた等をはずしたままで運転しないでください。
（機械部分に布ぼこりが入り、故障等の原因になります。）



●毛布の乾燥はおさけください。
毛が抜けることがあります。

ウール製品の乾燥

●ウール製品は縮んだり、形くずれしますのでおさけください。
●ウール以外でも厚手の綿、メリヤス等は少し縮むものがあります。

さけていただきたい衣類

●ドライクリーニング液、シンナー、ベンジン、ガソリン、機械油、食用油等の付着した衣類は絶対に乾燥しないでください。
（火災の恐れがあります。特に食用油の付着した衣類は通常の洗濯では、落ちない場合がありますのでご注意ください。）
●わたやウレタンフォームなどは火災の恐れがありますのでおさけください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- お手入れの前に、電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。
- 安全のため、及び本体外側保護のためシンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。

お手入れ

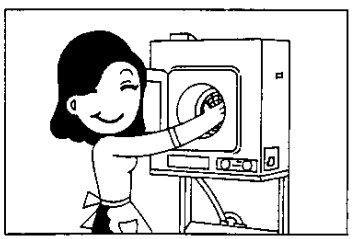
- ドラム内のフィルター・バックフィルターBは使用後、そのつど必ず網目に付着した布ぼこりを取り除いてください。もし毎回掃除されていない場合でも、フィルターカバーに布ぼこりが付着して、「フィルターサイン」の文字が目立つようになりましたら必ず掃除してください。

※フィルターの掃除をしませんと、乾燥時間が長くなりブザーが鳴って火が消えます。
火が消えたときは、各フィルターを掃除した後、再び点火・運転してください。

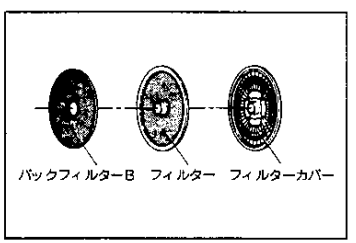
お手入れの順序

そのつど

①フィルターカバーを右図のように手前に引出します。



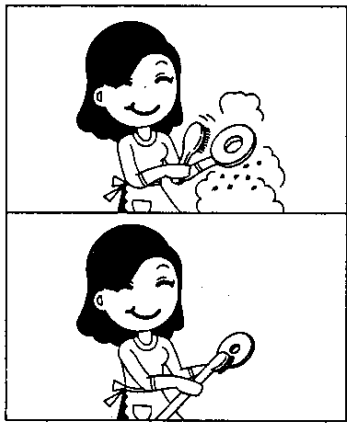
②フィルター・バックフィルターBをフィルターよりとりはずします。



そのつど

③やわらかいブラシや電気掃除機などでフィルターを破らないようにほこりを取り除きます。

- フィルターに粉状のほこりが付着して取れない場合は、洗剤をつけて水洗いして、確実に乾燥させて使用してください。
- フィルターカバーとフィルター間のわた、またはフェルト状のものは布ぼこり(ゴミ)です。



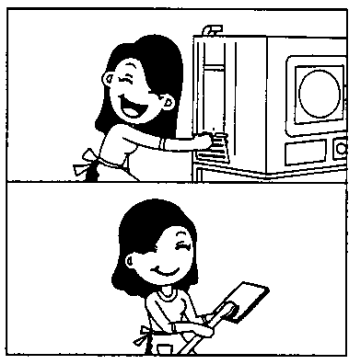
フィルターの取り付け方法

①フィルター・バックフィルターBをフィルターカバーにセットします。

②フィルターカバー中央の凹部とドラム中央の凸部を合わせ確実に押し込みます。

ときどき

- 器具左側面下部にある、吸気口のつまみを引張って、フィルターBをはずし掃除機などで掃除してください。



故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中ふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 / 原因	点火しにくい 点火しない	ガスの臭いがする	運転しない	消火しやすい 使用中に消火した	ドラムから音がする	ファンから音がする	処置方法	参照ページ
ガス元せんの開け忘れ	○						ガス元せんを開ける（全開する）	6
ガス元せんの開きが不十分	○			○				
ゴム管の接続不完全	○	○		○			ゴム管を確実に接続する	5
ゴム管内に空気が残っている	○						点火操作をくり返す	7
ゴム管の折れ曲り・つぶれ	○			○			ゴム管の折れ・曲りをなおす	2
ゴム管のひび割れ・穴あき	○	○					ゴム管を交換・先を切りつめる	2
電源プラグを差し込んでいない	○		○				電源プラグを差し込む	6
衣類のボタン・チャックがドラムにあたっている					○		ボタン・チャックをとめて裏返す	−
ドラム自体から音がする					○		点検・修理を依頼する	−
ファンとファンケースが接触している						○	点検・修理を依頼する	−
ドアを閉じていない	○		○				ドアを閉じる	6
ベルトが切れている			○				点検・修理を依頼する	−
洗濯物の量が多すぎる			○				規定の重量以下にへらす	9
タイマーが「止」になっている	○		○				タイマーを5分以上にセットする	6
過熱防止装置が働いている	○		○				点検・修理を依頼する	−
電気系統の故障	○		○	○			点検・修理を依頼する	−

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 14ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- ご確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

(1) 品名……(ガス衣類乾燥機)

(2) 品番……左側面下部に貼付してあります。

(例)

(3) 現象……(できるだけ詳しく)

(4) 道順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

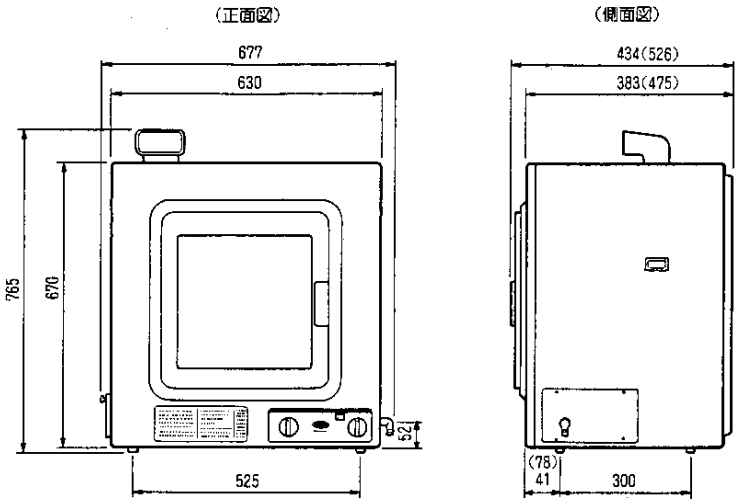
- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。
  ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
  この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。
- 電源の周波数が異なる地域へ転居される場合も同様です。

保証書について

- この器具には保証書がついています。
  このガス衣類乾燥機は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
  保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

寸法図と仕様一覧表

寸　法　図　60-007型（　）は60-008型です



（単位 mm）

仕　様

コード番号		60-007型		60-008型	
寸法（mm）		幅677×奥行434×高さ765		幅677×奥行526×高さ765	
重量（kg）		21		23	
接続	ガス	φ9.5mmゴム管			
	電気	AC100V			
ガス消費量		都市ガス6C	都市ガス13A	都市ガス6A	LPガス
		2,500kcal/h			0.2(kg/h)
電気消費量（W）		170		180	
サーモ（バイメタル式）	温度調節用	作動温度 65℃ 復帰温度 50℃		作動温度 55℃ 復帰温度 45℃	
	保安用	作動温度 90℃　復帰温度 75℃			
タイマー		110分計（モーター式）5分送風付			
たね火安全装置		熱電対式			

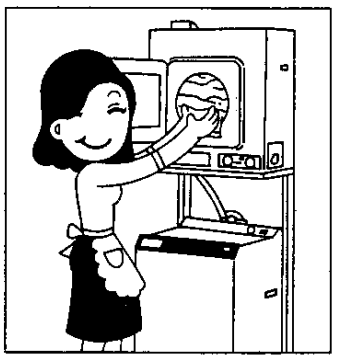
特　長

1．雨の日でも、夜でも天気に関係なく乾燥できます。

2．洗濯機ほぼ一回分の洗濯物を、ガスならではの強い熱風ですばやく乾燥します。もの干しのテマ・ヒマを少くして奥様の貴重な時間をつくり出します。

3．洗濯物を衣類乾燥機に入れてタイマーをセットし、ガスを点火するだけで自動的に乾燥します。

4．別売の専用台を使用し、洗濯機の上側に設置すればもの干しのスペースは不要です。

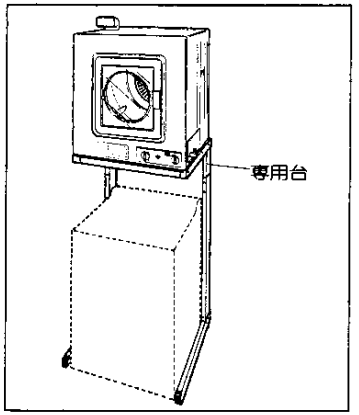


5．付属の乾燥棚を使用すれば、ズックぐつなども乾燥できます。

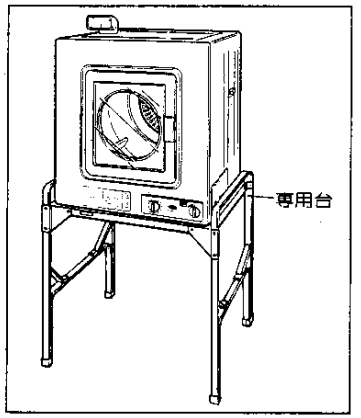
6．万一たね火が消えても、ガス漏れを防ぐ「たね火安全装置」、異常に加熱した時ガスを止める「サーモスタット」や「温度ヒューズ」などの安全装置がついています。

別売部品のご紹介

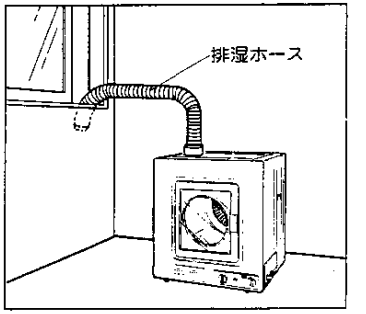
次の様な別売部品を用意しています。大阪ガス支社、サービスステーション、サービスショップでお求めください。



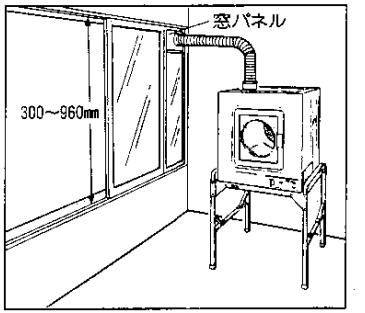
●専用台(コードNo：(4)65-019A)
●洗濯機の上の空間を利用して衣類乾燥機を設置できます。
下で洗濯、上で乾燥ができますので洗濯物を持って移動することがなくスペースも少なくてすみます。
寸法は、洗濯機に合わせて、伸縮できます。



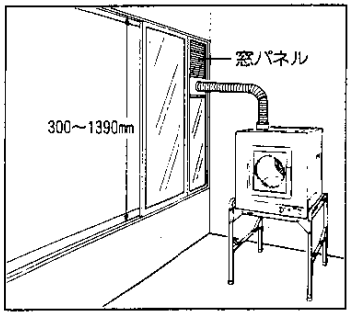
●専用台(コードNo：(4)65-021)
●衣類乾燥機を床面より約50cmの高さに設置できますので、操作や洗濯物の出し入れがラクにできます。



●排湿ホース(コードNo：65-018)
●衣類乾燥機から出る湿った排気を屋外に排出できます。(全長約1.5m)



●窓パネル(CDW-95)
●上記排湿ホースを利用する時にご使用ください。窓を開めたままで排出できます。
高さは300mm～960mmに調節できます。



●窓パネル(CDW-138)
●上記排湿ホースを利用する時にご使用ください。窓を閉めたままで排出できます。
高さは300mm～1390mmに調節できます。

MEMO

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開してから(火気に注意して)大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (652) 0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722 (38) 1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39番6号	☎高槻 0726 (71) 0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798 (26) 3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729 (62) 1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720 (41) 1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区柏生町5丁目13番10号	☎神戸 078 (576) 5231
京都支社	〒604	京都市中京区鳥丸御池角	☎京都 075 (231) 8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742 (44) 1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734 (31) 2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792 (85) 2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29-1	☎加古川 0794 (21) 1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962 (3) 2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775 (62) 5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749 (22) 3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496 (2) 7171)

その他当店サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社